

中部学院大学報

# PAULOWNIA+

ポローニア プラス

CHUBUGAKUIN DIGEST







# 大学祭・たのしみん祭(関) 学びの森フェスティバル(各務原) 3年ぶりに開催

新型コロナウイルス感染症の影響で、この2年間は、大学祭・たのしみん祭はオンラインで、学びの森フェスティバルは中止でしたが、今年度は3年ぶりに共にリアルで開催しました。キャンパスには近隣にある幼稚園や保育園、小学校、中学校、高校、さらには地域の方々が参加し、多くの人でにぎわいました。



表紙写真

両キャンパスに定期的に訪れるキッチンカー  
=関キャンパス

PAULOWNIAは

中部学院のシンボルである「桐」の英語表記。

かつては大学祭を「ポローニア祭」と呼び、

学生に親しまれてきました。

発行 | 中部学院大学報編集委員会

2023 Vol.49

## Contents

P 04 GRADUATES SPECIAL FEATURE 01  
恩師からのメッセージ

P 06 GRADUATES SPECIAL FEATURE 02  
卒業生座談会

P 08 SPECIAL FEATURE  
キラッと輝く中部学院生

P 10 CLUB & CIRCLE

P 13 学長賞・同窓会長賞

P 14 TOPICS



# GRADUATES SPECIAL FEATURE 01

## 恩師からのメッセージ

### 夢に向かってしなやかに

卒業おめでとうございます。皆さんが2年生になった春ころ、コロナウイルス感染症が日本に上陸し、瞬く間にパンデミックとして広がりました。そのため、授業は対面と遠隔のハイブリットとなり、さぞかし大変だったと思います。また、福祉施設、病院、小学校、幼稚園などでの実習も困難となり、学内での模擬体験も多かったと思います。本当にご苦労様でした。

一方自然界の草木は、春になると芽を吹き、梅雨とともに大きく茂り、夏の日差しを一杯受け取ります。やがて、紅葉し、実をつけ、落ち葉となります。でも枝先には来年のための小さな小さな芽がすでに準備されています。この様に草木は、四季の移り変わりに合わせて形を変えながら、少しずつ成長していきます。皆様の今日の努力は明日に繋がり、1年間の努力は翌年に繋がります。皆様も自然の移り変わりを感じながら、しなやかにそしてたくましく夢を追いかけてください。

### 人生は正解の無いことの連続

ご卒業おめでとうございます。晴れの門出を心よりお祝い申し上げます。社会の在り方そのものが大きく変化している時代だからこそ、本学のモットー「生きる、を学ぶ」を心に刻んでください。自分らしく幸せに生きるために、そして周りが幸せに生きるにはどうしたら良いのかという視点で、これからも「生きる」を学び続けて頂きたいと思います。卒業後、多くの正解の無い問いに出合い戸惑うかもしれません。人生は正解の無いことの連続です。大学で、正解の無い問いに向き合う学びをしてきた皆さんは、社会に出て人に揉まれながら人間力を高めてください。たくましく道を切り開いていてもらいたいと思います。

そして、中部学院大学短期大学部で大切にしてきた笑顔と挨拶を実践し続けてください。笑顔と挨拶は自分と周りに勇気と力を与えることができます。皆さんが祝福の恵みの光に包まれますように、皆さんが周りの人の光となりますように祈ります。

### 明るく希望を持って生きる！

ご卒業おめでとうございます。大学での学びを終え、いよいよ新たなる学びの始まりの時です。この大学で学んだこと、体験したこと、かけがえのない人々との出会いなど、学生時代の貴重な日々が、これからの人生を支える礎(いしづえ)となることでしょう。

社会は甘くありません。努力だけでは乗り越えられない数多くの事柄と人々に出会うでしょう。辛くて投げ出したくなる時もあるでしょうが、簡単に結論を出すことは避けなければなりません。考えながら願いながら時が満ちるのを待っていると、希望につながる光が見えてきます。笑顔は光を招きます。明るく希望を持って笑顔で歩いて下さい。

#### 大学学長 江馬 諭



#### 短期大学部学長 片桐 史恵



#### 大学・短期大学部副学長 片桐 多恵子



### 人生100年時代を楽しむ

#### 人間福祉学部長 飯尾 良英

ご卒業おめでとうございます。コロナ禍も3年が過ぎました。厳しい環境の中で学生生活を送り卒業式を迎えられた皆さんに敬意と祝福を贈ります。さて、人生100年時代といわれます。皆さんの前途は真っ白な広いひろいキャンパスです。どんな道をつくるか、どんな色で彩るか。仕事や趣味、結婚・子育て、資格取得、いろんな人との出会いと別れ。いろんなことを経験すると思います。不安もありますが楽しいことがきっと待っています。健康第一、挑戦を恐れず、自分らしい歩幅で歩いてください。



### これからの世を支える世代に

#### 看護リハビリテーション学部長 大森 正英

ご卒業おめでとうございます。これから皆さんが出ていく世の中は今、様々な苦難にさらされています。しかし、日本の未来は言われているほど暗くはありません。元気な高齢者は全高齢者の7割を超えています。要介護者だけが増え続けているわけではありません。コロナ禍の教訓が医療の改善につながった例もあります。暗い面のみに注目すると真実を見失います。

皆さんは貴重な体験をした世代として、これからの世の中を変えていく使命があるのです。大学での学びが着実に実を結んでいくことを願っています。ご健闘を祈ります。



### 笑顔とあいさつを忘れずに

#### 短期大学部幼児教育学科長 杉山 祐子

ご卒業おめでとうございます。子供にかかわる仕事を夢見て入学したみなさんが、様々な困難を克服し、努力し、ともに学ぶ仲間を得た2年間は、短いけれど人生で最も充実した時ではないでしょうか。この2年間を原動力として、本学の「“生きる”を学ぶ」精神のもと、まずは自分自身が幸せに生き、そして周りの人が幸せに生きるために力を尽くすことを期待します。それは、幼児教育学科のモットーである「笑顔とあいさつ」が人とつながっていくはじめの一歩ですね。



### これからも学び続ける人であれ

#### 教育学部長 小林 直樹

ご卒業おめでとうございます。美濃国岩村藩出身の儒学者、佐藤一斎は『言志四録』で、「少に(若く)して学べば、即ち壮にして為すこと有り。壮にして学べば、即ち老いて衰えず。老いて学べば、即ち死して朽ちず。」と言っておられます。人生は常に勉強であるということです。「ポーっと生きてんじやねーよ!」ということです。特に教職に就く人には、学び続ける気概が求められると思います。これからも様々なことに興味をもち、挑戦し、自分の人生を豊かなものにしていってください。



### 卒業おめでとう！

#### スポーツ健康科学学部長 鈴木 壯

コロナ禍やウクライナでの戦争などの影響もあり、世の中が落ち着かない状況ですが、卒業生の皆さんは、次へのステップを踏み出す卒業です。

人は「人と人との関係」の中で生まれ、育ちます。親、兄弟、友達、先生等との関わりを通して育つのです。良い関係が持てると、心身とも比較的健康に、自分らしく、自分自身を活かしやすくなります。人と関わり、その人を理解し、そうした中で、自分自身を理解してもらい、お互いを尊重しながら生きて下さい。無論、悩み、葛藤、苦しみ、不安、などは必ずあります。それと向き合い、それを乗り越えながら(折り合いをつけながら)自分らしく生きてほしいと思います。今後の成長を楽しみにしています。



### 心にのこる記憶をこれからの力に

#### 短期大学部社会福祉学科長 吉川 杉生

皆さん、いよいよ卒業ですね。社会福祉学科は、特徴のある3つのコースがあり、また、社会人生活を経て学ぶ皆さんや、母国を離れ異なる言語と文化の中で生活を始めた皆さんもいます。誰にとっても、大きな挑戦の2年間だったと思います。

この間の体験は、楽しいこともあれば、つらかったこともあるかもしれませんが、それでも、2年間の出会いの中で得た「心にのこる記憶」は、これからの仕事や生活で必ず大きな力になります。

皆さんが、新しい環境でそれぞれ活躍することを教員全員で応援しています。







人間福祉学部  
人間福祉学科

田神 和真さん  
(たがみ・かずま)

公務員(行政職)

教育学部  
子ども教育学科

堀田 稀楓さん  
(ほった・まれか)

教諭(幼稚園)

看護リハビリテーション学部  
理学療法学科

桂川 実希さん  
(かつらがわ・みき)

団体職員(理学療法士)

看護リハビリテーション学部  
看護学科

木村 思英瑠さん  
(きむら・しえる)

公務員(保健師)

スポーツ健康科学部  
スポーツ健康科学科

三島 きりさん  
(みしま・きり)

会社員(事務)

短期大学部  
幼児教育学科

西垣内 わこさん  
(にしがいと・わこ)

公務員(保育士)

短期大学部  
社会福祉学科

小栗 彩愛さん  
(おぐり・あやめ)

社会福祉法人職員(介護士)

## 卒業生座談会

4年間、2年間の大学生活を終え、この春、社会に飛び立つ卒業生の皆さん。大学時代の思い出や就職に向けての抱負、後輩の皆さんへのメッセージを語り合ってもらいました。

### 仲間と互いに励まし合いながら成長 支えてくれる人のありがたさを実感

—大学生活を振り返って、頑張ってきたことや印象に残っていることは。

桂川 3年時のOSCE(実技試験)や国家試験対策です。コロナ禍の影響で約2年間、大学で講義を受けることができず、個人で勉強する期間が多かりましたが、ゼミのメンバーやクラスの仲間と互いに励まし合いながら、一緒に成長していることを実感しました。

木村 「勉強を頑張ってきた」と胸を張って言える4年間でした。人体の解剖生理や看護の基礎知識を学び始めたころは、聞き馴染みのない言葉に悪戦苦闘する日々でしたが、仲間と共に教え合うことで乗り越えられ、自分の中の看護観も明確になりました。

西垣内 初めての實習では、事前準備から事後指導まで、友達と確認しながら丁寧に進めました。2年生のゼミ活動では、幼稚園などに行き、体力測定や野球教室を行いました。座学では分からないことも、現場に行くことで分かることがたくさんあると感じました。

田神 公務員試験対策が本格化した3年後期からが印象に残っています。公務員特講の先生やゼミの先生、キャリア支援センターや対策講座の外部講師の先生など、公務員試験対策を通して、自分を支えてくれる人がいることのありがたさや大切さを実感しました。

小栗 「何事にも向上心を持って取り組み、常に成長する」ことを大切に、勉強とアルバイトの両立を頑張ってきました。国家資格の介護福祉士を取得することを目指しながら、アルバイトでは、人と関わる中で、就職した際に少しでも役立つように努めてきました。

堀田 ラ・ルーラファクトリーで4年間、ボランティア活動を頑張りました。自分で企画を考えることが楽しく、子どもたちが喜んでくれた瞬間や笑顔がとても印象に残っています。保育に必要な事前準備や臨機応変さを身につけることができたと思っています。

三島 一番力を入れたのは部活動です。空手道部の2期生として活動し、ナショナルチームにも選ばれました。強豪校から集まった頼もしい同期をはじめ、空手以外に社会のことも指導して下さったコーチ、先輩方、多くの方々に支えてもらいながら頑張りました。

### 培った知識や学びを存分に生かしたい 責任ある行動をとれる人間に成長したい

—就職に向けての抱負は。

西垣内 1年生の12月から公務員講座に通い、目標を明確にし、就職に向けて勉強してきました。第1希望の公務員に合格することができ、学んだことを精いっぱい生かしていきたいです。日々子どもたちから学ぶ姿勢を大切に、これからも頑張っていきたいです。

堀田 自分の考えだけにとらわれず、どんどん周りの保育の良いところを吸収していきたいと思っています。保育の幅を広げながら、子どもたちが「楽しい!」と思える瞬間がたくさん生まれるように子どもたちの個性を包み込める幼稚園教諭を目指していきます。

田神 生まれ育った岐阜市で働きたいと思い、公務員を志望しま

した。事務職という幅広い分野を扱う職種ですが、福祉分野で培った知識や、相手のニーズを的確に捉える対話技術など、学んできたことを生かし、暮らしやすいまちづくりに寄与したいと思っています。

三島 卒業後も空手道を続けることができる環境を整えていただきました。必ず結果を残して、応援してくださっている方々への恩返しをしていきたいと思っています。選手としても社会人としても、公私ともども責任のある行動をとれる人間に成長していきたいです。

小栗 「人のために役立ちたい」という思いから、人材が不足している介護現場で働きたいと思いました。卒業してからも「学び」を終える日はないと思います。これからのよいよ実践の場になりますが、常に自身の成長を求め、前向きに仕事に取り組みたいと思います。

桂川 対象者の方に寄り添った治療を行うために、日々の変化に気付き、コミュニケーションを取ることを大切に、信頼関係を築いていきたいです。専門性の高い知識や技術を身につけるために勉強を続け、質の高い理学療法を提供できるように努力していきたいです。

木村 人の健康は予防が重要で、保健活動こそが地域の医療専門職に求められていると強く感じ、保健師を目指しました。地元では、医療専門職としての役割を果たし、住民の方々ができるだけ長く、元気に安心して生活できる地域づくりに尽力していきたいです。

### 思い出に残る充実した大学生活を— いろいろなことにチャレンジを—

—後輩に向けてのメッセージを。

三島 卒業する時に、いい4年間だったと思えるように、何事にも全力で過ごしてほしいです。自分で決めたことには責任を持ち、楽しい

時間を送ってください。大学生活をいつか思い出した時に、誰かに話したくなるような素敵な時間になるといいなと思います。

西垣内 短大は2年間しかありません。日々の生活の過ごし次第で、充実度が大きく変わってくると思います。自分次第でどれだけでも変えることができるので、人とのつながりを大切にしながら、充実した大学生活を過ごしてほしいと思います。

小栗 夢や目標など、気になることがあれば、すぐに諦めてしまうのではなく、まずは一度、取り組んでみてほしいです。私も在学中に取れる資格を取得しました。失敗も経験になります。いろいろなことにチャレンジして、頑張してほしいと思います。

木村 「やる時はやる」「息抜きする時はしっかり休む」。遊ぶ時に勉強の不安がよぎらないように、やることは済ませておきましょう。そして人生で1番勉強を頑張ったのは学生時代と胸を張って言えるようにして、同窓生としてそれぞれの現場で頑張りたいです。

桂川 対面で先生方の講義を受けられることのありがたさを感じました。先生方から学んだ知識や技術は、臨床實習や国家試験対策でも役立つため、一回一回の講義を大切にしてほしいです。同じ目標に向かって頑張り、励ましてくれる仲間を大切にしてください。

堀田 實習では、子どもたちと一緒に楽しんでいることを実感することがあり、その経験が子どもと関わる時に大切であると実感しました。努力は必ずつながっていくので、前向きにこれからも頑張ってください。思い出になる時間を思う存分楽しんでください。

田神 大学生活はあっという間です。勉強や趣味、アルバイト、プライベートの時間など、大学生だからこそできることはたくさんあります。自分がやらなければならないことは何かを考え、悔いが残らないように、限られた時間を精いっぱい過ごしてほしいです。



# SPECIAL FEATURE

## キラッと輝く中部学院生

### ゴルフ部

### プロテストに5名が現役合格

本学ゴルフ部の5名(いずれもスポーツ健康科学部)がプロテストに現役合格を果たしました。2010年の創部以来、本学からのプロテスト合格者は14名(退部後の合格者も含む)となり、在学での合格は2019年の中山絹也選手以来3年ぶり。

プロテストに合格したのは、男子が服部雅也選手(愛知・岡崎城西高校出身、最終プロテスト2位)、富田幸暉選手(福井工業大学福井高校出身、同14位タイ)、藤田輝人選手(愛知・誉高校出身、同14位タイ)、阪口亮太選手(三重・伊賀白鳳高校出身、同22位タイ)の4名、女子は荒川怜郁選手(沖縄・ゴザ高校出身、同16位タイ)です。

PGA(男子)／JLPGA(女子)資格認定プロテスト(最終プロテスト)  
[男子]2022年8月30日から3日間、北海道の登別カントリークラブにて開催。43位タイまでの51名が合格  
[女子]2022年11月1日から4日間、茨城県の大洗ゴルフ倶楽部にて開催。18位タイまでの20名が合格

### プロテストに合格して

**服部** ほっとしています。10位以内を目指して頑張ってきたので、2位という結果で終わって良かったです。その反面、1位と3打差をつけられ、悔しさもありました。

**藤田** テストでは、服部くんが大差をつけられ、順位では負けてしまいましたが、プロテスト合格を果たせて良かったです。

**富田** 初日に大幅に出遅れてしまい、122位という順位でのスタートでしたが、最終的には14位まで巻き返すことができました。

**阪口** プロテスト合格した4人の中では、成績が振るいませんでしたが、とりあえず、合格することができたので良かったです。

**荒川** ずっと緊張の中にいたので、やっと終わったという感じです。来季の出場優先順位を決める予選会(QT)を4位で終えて、前半戦の出場権を確保できました。合格したのが形になって実感がわいてきました。

### 大学生活を振り返って

**服部** 1年生の時から全国大会に出場する機会をいただきました。その時はレギュラー選手がけがで出場できなくなった代役でした。レギュラーになれるほどの力はまだありませんでしたが、出場機会を与えていただいたおかげで、その後の成長に大きくつながったと思っています、感謝しています。

**富田** 私も1年生からレギュラーで使っていただきました。全国大会に出場する中で、高校と大学のレベルの差を感じて、4年間、頑張っ練習を重ねて、何とからいついて

きました。4年生になったころは、全国大会で良い成績を残せるようになって良かったです。

**荒川** 大学のゴルフ部に入り、試合数が増えて経験値が上がりました。また、練習では友人とコースの戦略について話す機会もできました。終盤にスコアが崩れることが多くありましたが、最後まで丁寧に試合をするように心掛け、成績を伸ばせるようになりました。

**藤田** 全国大会では、あまり良い成績を残せたことはありませんでしたが、自分より技術が上である先輩方や同級生が集まっている部活動で、影響を受けたと同時に、自分も成長しなければいけないと思い、練習に励んできました。

**阪口** 私も全国大会では全然良い成績を残せずにいたので、先輩方や仲間に練習方法や技術などを教えてもらい、成長できたと思っています。

### プロに向けて一言

**荒川** デビューが地元の沖縄になります。見ている人が「良かった」「面白かった」と感じてもらえるようなゴルファーを目指したいです。シード権獲得、優勝者と上位シード選手が出場するツアー最終戦に出場できるように頑張ります。

**阪口** 一つ一つ頑張っ、いっぱい賞金を稼ぎたいと思います。

**服部** プロテスト合格者の新人戦を皮切りに頑張っりたいと思います。

**藤田** 合格した仲間には負けるつもりはないので、これからも精を出していきたいです。

**富田** プロになると、さらに壁があると思いますが、ツアーに出場するための予選会に力を注いでいきたいです。



現役プロ合格を果たした(左から)藤田輝人選手、阪口亮太選手、服部雅也選手、富田幸暉選手



女子で現役合格し、来季の前半戦出場権を獲得した荒川怜郁選手(左)と櫻井和男監督

### 服部 雅也 (はっとり・まさや)

- 2000年10月26日生まれ 愛知県出身 174cm
- ゴルフを始めた時の年齢/8歳
- ゴルフを始めた動機/祖父の影響
- ドライバー平均飛距離/300ヤード
- ベストスコア/61(葵ゴルフ倶楽部)
- 主な戦績/岐阜県学生ゴルフ選手権 優勝(2022)
- 目標とする人/櫻井和男(本学監督)

### 富田 幸暉 (とみた・こうき)

- 2000年6月生まれ 岐阜県高山市出身 169.5cm
- ゴルフを始めた時の年齢/4歳
- ゴルフを始めた動機/父の影響
- ドライバー平均飛距離/270ヤード
- ベストスコア/64(花の木ゴルフクラブ)
- 主な戦績/国民体育大会 個人3位タイ、団体2位(2019)
- 目標とする人/大内智文(ツアープロ、本学卒業生)

### 藤田 輝人 (ふじた・こうと)

- 2000年8月生まれ 愛知県出身 169cm
- ゴルフを始めた時の年齢/10歳
- ゴルフを始めた動機/父親の勧め
- ドライバー平均飛距離/280ヤード
- ベストスコア/67(明智ゴルフ倶楽部)
- 主な戦績/中部学生ゴルフ選手権 10位(2019)
- 目標とする人/今平周吾

### 日々の練習の積み重ねが合格に

ゴルフ部 櫻井 和男 監督

それなりの努力をしなければ結果は出ません。日ごろの練習やコースでの結果が競技会での自信になると言ってきました。その中で、4日間の競技であれば、「右肩上がりに結果を出せるような気持ちでいこう」と伝えてきました。序盤の成績が良かったとしても「さらに伸ばそう」という気持ちが、今回のメンバーは違いました。日々の練習と意識を持って取り組んできた結果が現役合格につながったと思います。

### これからが本当のスタート

江馬 諭 大学学長

合格おめでとうございます。ここからが本当のスタートです。これからは自分で判断して行動することになります。みなさん一人一人のゴルフに対する考え方や姿勢が今後のプロゴルファーとしての活躍に大きく影響してくると思います。体調に気を付けて、益々の活躍を期待しています。

### 本学のプロテスト合格者(カッコ内はプロテスト年)

2010年度入学	坂井允誌(2018)
2012年度入学	山本景子(2016)
2014年度入学	光田智輝(2018) 瀬瀬悠太(2019)
2015年度入学	大内智文(2020)
2016年度入学	中山絹也(2019) 金子優将(2020) 三島泰哉(同)
2019年度入学	新井隆一(2021) 服部雅也(2022) 富田幸暉(同) 藤田輝人(同) 阪口亮太(同)
2021年度入学	荒川怜郁(2022)

### 全日本大学スーパーリーグ男子準優勝



中部学生秋季対抗戦で男女とも優勝を果たし、常陸宮杯(男子)ならびに常陸宮妃杯(女子)全日本大学選手権大会(10月/石川・片山津ゴルフ倶楽部西コース)に出場を果たしました。結果は男女ともに9位でした。その直後に行われた全日本大学スーパーリーグ(11月/兵庫・三木ゴルフ倶楽部)では、男子は優勝した日本大学に3打差で準優勝を飾りました。女子は7位でした。個人ではプロツアーに出場する選手がしのぎを削っていたり、各都道府県のアマチュア大会などでは優勝あるいは上位の成績を収めたりしています。

全日本大学スーパーリーグ 出場選手・男子 | 長谷川貴優(3年/各務原) 笠原瑛(3年/瀬戸内)、河邊匠(2年/同) 清水大翔(2年/新潟・開志国際) 永田丞(1年/美濃加茂)



# CLUB & CIRCLE

## 空手道部

### 寺澤紗良選手 世界大会(20歳以下)で優勝



世界カデット・ジュニア&アンダー 21選手権で果敢に蹴り技で攻め込む寺澤紗良選手(左)=トルコ・コナヤ(JKFan提供)

空手道部の寺澤紗良選手(スポーツ①/済美高校出身)が昨年10月にトルコで行われた「世界カデット・ジュニア&アンダー 21選手権」アンダー 21女子組手68kg超級に出場し、優勝を飾りました。12月にウズベキスタンで開かれた「アジアカデット・ジュニア&アンダー 21選手権」も制し、世界の大舞台で躍動しました。

#### —世界の大舞台で優勝した心境は。

これまで、大きなタイトルを手にする事ができませんでしたが、大きな大会で良い結果を残す事ができて自信になりました。

#### —初めての世界大会で良かったところは。

「勝たないといけない」というのではなく、「挑戦していく」という気持ちで臨みました。持ち味の蹴り技をいかに出せるかを考えながら、常に先手を意識して、ポイントで優位に立ち、自分のペースに持ち込めたのが良かったです。初戦と決勝では、先にポイントを取られましたが、焦らず、落ち着いて試合に臨めました。

#### —一次につなげる課題はありましたか。

技術面では、さらにスピードとパワーに磨きをかけていく必要性をあらためて感じました。精神面では、常にプラス思考を持ちながら、良い時の動きを意識していきたいと思いました。

#### —2回目の世界の舞台となったアジア選手権を振り返って。

(優勝した後の大会で)少しプレッシャーもありました。

会場が違うと雰囲気も全然異なるので、空気感を大切にしながら、挑戦する気持ちを忘れず、試合に向かうことができました。

#### —トルコの大会から成長したところは。

試合中は常に足を動かし、仕掛けていくことを意識しました。その結果、先にポイントを取りながら、自分の流れで戦えました。結果として無失点で終わることができて良かったと思います。

#### —これからの目標を。

大会で得た自信を大切にしながら、目の前の一戦一戦に集中して、まだ獲得したことがない日本一を目指していきたいです。



初の世界の大舞台で金メダルを獲得した寺澤選手(左から2人目)



応援に駆け付けてアドバイスを送った本学空手道部の山口聡孔コーチ(左)と共に

#### 全日本大学選手権に16名が出場

空手道の全日本大学選手権が11月、東京・日本武道館で開かれ、空手道部は男女各団体の組手と形の全4種目に出場しました。形は男女とも7位、組手は女子がベスト16、男子は初戦敗退でした。

12月に東京武道館で行われた全日本選手権では5選手が出場。都道府県対抗で競う団体組手(内閣総理大臣杯)には、寺澤紗良選手と伊熊遥花選手(スポーツ①/済美高校出身)が岐阜県代表として登場し、ベスト16でした。



## バスケットボール部

### 男子はインカレ出場決定リーグに進出 リバウンド王に足立龍聖選手

東海学生バスケットボールリーグ戦の男子1部の男子バスケットボール部は、1次リーグを2勝5敗の6位で通過。上位6チームによるインカレ出場決定リーグに進出しました。インカレ出場は逃しましたが、来季も1部で戦います。個人では、足立龍聖選手(人間福祉③/吉城高校出身)がリバウンド部門で1位となり、外国人選手を抑えてリバウンド王に輝きました。1次リーグ2試合はコロナ感染による棄権となりましたが、その中で勝ち取りました。

2部の女子バスケットボール部は4位となり、1部2部入れ替えリーグ戦(6チーム)に挑みましたが、1勝(4敗)の5位で1部昇格は来季に持ち越しとなりました。

### バレーボール部 男子1部に再昇格 女子はあと一歩及ばず

東海大学男女バレーボールリーグ戦秋季大会で、2部リーグの男子バレーボール部は、すべてストレート勝ちの7戦全勝で終え、優勝を果たしました。1部・2部入れ替え戦に臨み、1部8位の至学館大学と対戦。セットカウント3-0で勝利し、1部昇格を決めました。

一方、2部リーグに所属する女子バレーボール部は同大会2位で終え、1部・2部入れ替え戦に出場しましたが、東海学院大学(1部7位)に敗れ、1部昇格はお預けとなりました。



## 剣道部

### 全日本優勝大会(団体)に出場

剣道の全日本学生優勝大会が10月、大阪エディオンアリーナで行われ、本学は1回戦で中央大学と対戦。強豪校に挑みましたが、初戦突破はなりませんでした。



【出場選手】角本皓哉(スポーツ④/美濃加茂)上垣内大夢(同③/高山西)山畑蒼一郎(同③/郡上)土屋壮平(同②/高山西)石樽大輝(同②/郡上)黒川輝瑛(教育②/中京)志田聖夜(スポーツ②/宮崎・都城東)石原共晟(同①/京都・東山)藤田仁平(同①高山西)

## 硬式野球部

### 社会人野球に過去最多の10名

本学硬式野球部から、社会人野球に過去最多となる10名が進むことになりました。所属先は次の通り。



(写真手前左から)太田潤選手、瀬田竜雅選手、山崎大輝選手、合屋朱理選手、北陸照選手(同奥左から)志賀大誠選手、中川貴翔選手、小引智貴選手、津川颯選手、三塚武蔵選手

【投手】津川颯(JPアセット証券/人間福祉、熊本・文徳)瀬田竜雅(ミキハウス/人間福祉、和歌山東)小引智貴(JFE西日本/スポーツ、倉敷商業)太田潤(神戸ビルダーズ/人間福祉、報徳学園)志賀大誠(Jプロジェクト/人間福祉、熊本・秀岳館)

【内野手】山崎大輝(JR東海/人間福祉、長崎商業)合屋朱理(ロキテク/富山/スポーツ、福岡・博多)北陸照(JPアセット証券/スポーツ、九州国際大学附属)中川貴翔(伯和ビクトリーズ/人間福祉、広島・崇徳) 【外野手】三塚武蔵(トヨタ自動車/スポーツ、県立岐阜商業)



# インクルーシブアート研究会

こよみのよぶねの行灯制作に初参加  
誰もが参加できる芸術活動を実践

12月の冬至の日に、岐阜市の長良川河畔で開催されている「こよみのよぶね」。1年を振り返る月の数字を象徴した1から12までの行灯(あんどん)が灯され、幻想的な光景が広がります。そのうち、「11月」をインクルーシブアート研究会のメンバーが初めて制作しました。



長良川に幻想的な行灯が並んだ「こよみのよぶね」



インクルーシブアート研究会のメンバー



インクルーシブアート研究会が制作した「11」の行灯



行灯の骨となる竹組みづくり

インクルーシブアートとは、障がいのあるなし、年齢、性別、国籍などに関わらず、誰もが参加できる芸術活動のこと。同研究会は今年度から活動を開始しました。

メンバーのリーダーは、人間福祉学部1年の相羽芽衣さん(愛知・尾西高校出身)。障がいや病気があっても、共に一歩ずつでも前進できるような場ができたという思いから、サークルを立ち上げました。協力して何かを取り組めることを目指し、週2回ほど、関キャンパスで、絵を描くことを中心に、アートで表現する活動を行っています。

今回のこよみのよぶねの行灯制作は、顧問で同学部の水野友有准教授が、11月の行灯を制作していた前リーダーと縁があり、誘いを受けて学生に声を掛けたところ、「作ってみたい」ということから実現しました。

デザイン案は、同研究会のメンバーら7人全員で出し合い、投票で決めました。その結果、同学部1年の近藤元(つかさ)さん(山県高校出身)の馬が2頭並んで「11」を表現したデザインが選ばれ、メンバーでさらに煮詰めていきました。近藤さんは「馬は縁起が良い動物で幸せを運ぶといわれています。見に来てくれた人を幸せにするような願いを込めました」と言います。

制作は、授業の合間を見て、関キャンパス本館1階にある地下駐車場の一角でコツコツと続けました。土台となる竹組みから始まり、のりを水で溶かしながら和紙を貼る作業まで、手作業で地道に取り組みました。「初めての体験で戸惑うことやうまく進まないこともありましたが、楽しい気持ちのほうが勝っています」。時には意見が衝突することもありましたが、対話して議論を重ね、最終的には全員が納得する行灯に仕上がりました。高さ4mほどの「1」と「1」の行灯には、ひらひらと風に舞う和紙でできた“たてがみ”も印象的な作品です。

1年で一番夜が長いとされる冬至の夕暮れ時、長良川に「11」の行灯が浮かび上がりました。「自分たちの集大成が披露される時と思うと感慨深かった」と口をそろえるメンバー。相羽さんは「病気があっても成し遂げられるんだと感じ取ってもらいたい」とメッセージを添えました。

水野准教授は「最近の特に若い世代は、人間関係が衝突しないように、距離感や空気感を事前に察知しようという風潮が見られます。しかし、不満や不安を打ち明け、励まし合いながら、問題を解決していくことが大切。喜怒哀楽を表現し合える場があることが人間らしく、怒りや哀しみも存分に表現してこそ、さらに喜びや楽しみが生まれてくるように思います。今回、こよみのよぶねに参加し、若者たちは多様な感情を表現し合える場になっていることを感じました」と振り返り、「今後はサークル、学部学科の枠を超えた活動にしていきたい」と話しています。



関キャンパスの地下駐車場の一角で制作活動



会場となる長良川に搬入

## 2022年度 学長賞 受賞者一覧

【区分】1:成績・人格識見 2:研究 3:課外活動 4:ボランティア 5:その他

大 学		氏名・学科・学年	区分	推薦事由
		寺澤 紗良 (スポーツ健康科1年)	3	空手道部に所属し、第12回世界カデット・ジュニア&U21空手道選手権大会において、U21女子組手+68kgにおいて優勝するなど輝かしい成績を収めた。
		小野江 優介 (人間福祉4年)	1	学業成績優秀で人格識見特に優れ、資格取得を前提に社会福祉分野で勉学に励んできた。卒業研究にも積極的に取り組み、学会や研究会活動にも積極的に参加した。
		氷室 和亮 (子ども教育4年)	1	学業成績優秀で人格識見特に優れ、リーダー的存在としてオープンキャンパスや地域連携事業報告会で発表した。また、不登校児童への取組団体一員として活動した。
		桂川 実希 (理学療法4年)	1	学業成績優秀で、冊子大学案内の学科紹介に登場し学科への貢献が大きい。臨床では、患者様に寄り添える理学療法士を目指している旨を述べ、人格識見特に優れている。
		井戸 咲希 (看護4年)	1	学業成績優秀で人格識見特に優れ、他の学生の模範となった。学科内交流会やボランティア活動に積極的に参加し誰とでもコミュニケーションがとれ前向きな態度であった。
		仲村 真歩 (スポーツ健康科4年)	1,4	学業成績優秀で人格識見特に優れ、明朗で活発な性格である。常にリーダーシップを発揮し、「若者選挙サポーター」のメンバーで、選挙啓発活動などの活動を行ってきた。
		三島 さり (スポーツ健康科4年)	3	空手道部に所属し、シニアナショナルチーム強化選手選考会に選出されたほか、全日本選手権大会出場、東海学生個人戦優勝、春季東海学生選手権大会で優勝した。
		渡邊 尚樹 (人間福祉4年)	3	空手道部に所属し、東海学生個人戦優勝、春季東海学生選手権大会優勝、全日本学生選手権大会出場、秋季東海学生選手権大会で優勝した。
		川上 友維 (スポーツ健康科4年)	3	空手道部に所属し、東海学生個人戦優勝、春季東海学生選手権大会3位、全日本学生選手権大会出場、秋季東海学生選手権大会3位などの成績を取った。
		中路 陽沙未 (スポーツ健康科1年)	3	空手道部に所属し、日本選手権大会出場、東海学生個人戦3位、春季東海学生選手権大会準優勝、秋季東海学生選手権大会で優勝した。
		伊熊 遥花 (スポーツ健康科1年)	3	空手道部に所属し、ジュニアナショナルチームU21選手選考会に選出、東海学生個人戦3位、春季東海学生選手権大会準優勝、秋季東海学生選手権大会で準優勝した。
		田神 和真 (人間福祉4年)	5	公務員特講を受講するなど公務員対策を行い、岐阜市役所の1次筆記試験、2次試験の面接を突破し、先輩が久しく成しえなかった岐阜市役所行政職に合格した。
		中島 将太 (人間福祉4年)	5	公務員特講を受講するなど公務員対策を行い、岐阜市役所の1次筆記試験、2次試験の面接を突破し、先輩が久しく成しえなかった岐阜市役所行政職に合格した。

### 短期大学部

氏名・学科・学年	区分	推薦事由
土原 玲未 (幼児教育2年)	1	学業成績優秀で人格識見特に優れ、努力家で何事にも挑戦する気持ちを持って取組んだ。学生間でも信頼があり、仲間と共に成し得ようとする姿が見受けられた。
伊澤 美緒 (社会福祉2年)	1	学業成績が優秀で人格識見特に優れ、学科行事やオープンキャンパスに積極的に参加し活躍した。授業中の態度は他の学生の模範となり、教員・学生からの信頼も厚かった。
ディーンダウドウイタミ (社会福祉2年)	1	岐阜県内外国語留學生日本語弁論大会において、素晴らしいスピーチを披露し最優秀賞を受賞した。学業成績も優秀で学外での国際交流活動等にも積極的に参加し活躍した。

### 団 体

団体名	区分	推薦事由
男子ゴルフ部	3	中部学生ゴルフ連盟主催の中部学生ゴルフ対抗戦において春・秋季優勝を果たし、全国大会に出場した。個人戦では、中日杯、東海テレビ杯、CBC杯などで優勝した。
女子ゴルフ部	3	中部学生ゴルフ連盟主催の中部女子学生ゴルフ対抗戦において春・秋季優勝を果たし、全国大会に出場した。個人戦では、中日杯、東海テレビ杯などで優勝した。
男子バレーボール部	3	秋季リーグで2部を全勝優勝、入れ替え戦を制し1部への復帰昇格を果たした。選抜された大学だけが出場できる権威ある全日本インカレにも創部以来初出場した。
空手道部	3	春季東海学生選手権大会女子団体組手優勝・男子団体組手3位、秋季東海大学選手権大会女子団体形優勝・男子団体形優勝・女子団体組手などで優勝した。

## 2022年度 同窓会長賞 受賞者一覧

【区分】1:学生会活動 2:大学の名誉・社会貢献 3:スポーツ・文化 4:その他

大 学		氏名・学科・学年	区分	推薦事由
		堀田 稀楓 (子ども教育4年)	4	学業成績優秀で朗読会「さがり花」では司会進行を務め、歓談の場でも、様々な質問に的確に答え、各務原市の幹部職員から称賛の声をいただいた。
		齋藤 駿 (理学療法4年)	4	学業成績優秀で、様々な役割を積極的に引受け、真面目で向上心が強く、患者様に寄り添える理学療法士を目指している旨を述べ、人格識見にも優れている。
		中丸 裕香 (看護4年)	4	学業成績優秀で何事にも意欲的に取り組み、自らの考えや意見を持ち、妥協を許さない強い意志で自分を高めることができる。仲間からの信頼も厚く人格識見に優れている。
		高橋 奈々 (スポーツ健康科4年)	4,2	学業成績優秀で様々な活動に熱心に取組み、真面目な人柄である。「かかみがはら若者選挙サポーター」のメンバーとして選挙啓発活動などを行った。
		足立 龍聖 (人間福祉3年)	3	東海学生バスケットボールリーグ戦(1部)において、リバウンド部門で第1位となり「リバウンド王」を受賞した。
		高杉 龍之介 (スポーツ健康科3年)	3	空手道部に所属し、東海学生個人戦準優勝、春季東海学生選手権大会準優勝、全日本学生選手権大会出場、秋季東海学生選手権大会で準優勝などした。
		生魚 瑠那 (スポーツ健康科3年)	3	空手道部に所属し、全日本選手権大会出場、春季東海学生選手権大会3位、全日本学生選手権大会に出場などした。
		山口 めぐみ (子ども教育3年)	3	空手道部に所属し、春季東海学生選手権大会3位、全日本学生選手権大会に出場などした。
		小松 凌也 (スポーツ健康科3年)	3	空手道部に所属し、全日本学生選手権大会に出場などした。
		永澤 仁 (スポーツ健康科2年)	3	空手道部に所属し、東海学生個人戦3位、春季東海学生選手権大会3位、秋季東海学生選手権大会で3位などとなった。
		杉山 優希 (スポーツ健康科2年)	3	空手道部に所属し、東海学生個人戦3位、春季東海学生選手権大会3位、秋季東海学生選手権大会で3位などとなった。
		久富 優羽 (スポーツ健康科1年)	3	空手道部に所属し、全日本学生選手権大会に出場などした。
		伊藤 迅 (人間福祉1年)	1	大学祭・たのしみん祭では、ボランティアとしてメインステージの司会を務め、また、第22回全国障害者スポーツ大会では、岐阜県選手団の旗手を務めた。
		鹿島 淳平 (人間福祉4年)	2	精神保健福祉ボランティアサークル「プラス」の活動に積極的に参加、外部機関との関係構築に深く関与、「福祉のイメージアップ委員会」に学生代表として参加した。
		大谷 聖也 (子ども教育4年)	2	ラ・ルーラファクトリーのサークル長を務め、小学校・地域の子ども会など、学内外のボランティアに積極的に参加し、その全てにおいて自ら計画、準備の段階から携わった。

### 団 体

団体名	区分	推薦事由
CCF(聖歌隊)	3	毎週の礼拝で讃美歌の奉仕を行い、毎年学内のクリスマス礼拝にも、讃美歌に加えアヴェ・マリアなどクラシックの合唱曲を賛美している。
手話サークル	3	手話スピーチコンテスト、入学式、卒業式等において、司会手話通訳という大きな役割を担っている。また、地域の高校の手話修得講義などのボランティアも行っている。

### 同窓会新評議員の紹介

本年の卒業生を代表して、同窓会評議員として活躍していただく皆さんです。

#### 大 学

- 人間福祉学科 石本 武 ●看護学科 中丸 裕香
- 子ども教育学科 松原 由奈 ●スポーツ健康科学科 林 俊輔
- 理学療法学科 高居 祐士

#### 短期大学部

- 社会福祉学科 伊澤 美緒 ●幼児教育学科 酒向 あゆみ



# TOPICS

## 中部手話スピーチコンテスト30周年記念講演会 歴代受賞者が熱のこもったスピーチを披露

中部手話スピーチコンテスト30周年記念講演会を11月、各務原キャンパスで開催しました。同コンテストは、聴者と聴覚障がい者の共生が実現できる社会を目指し、手話の普及と聴覚障がい者福祉の推進を図るために1992年から毎年開催しています。これまでに528組が出場しました。

今回は歴代の受賞者11名がスピーチしました。受賞後に気づいたことや変化したこと、今後の抱負などを伝えました。また、本学手話サークルの卒業生を招いた「ミニ手話講座」を開催し、来場者全員で「拍手」「久しぶり」「また会いましょう」などの手話を学びました。記念講演では、映画監督の今村彩子氏がオンラインで講演。学生と対談形式で行い、自身が制作した映画や制作のきっかけなどを話しました。



## 中濃厚生病院と連携協定を締結 地域医療、地域社会に貢献

岐阜県厚生農業協同組合連合会中濃厚生病院と連携協定を締結しました。今回の協定は、地域の医療需要に応える人材育成、地域の医療体制を支える研究推進、中濃厚生病院利用者のサポート支援の3つの分野において協力し、地域医療、地域社会に貢献することを目的としています。

同病院の赤松繁病院長は、「これからの地域医療の発展には多職種による連携が必要。連携協定を活用し、地域医療の発展、地域全体の発展に貢献していきたい」、大学の江馬諭学長は「地域に必要とされる人材を養成するために今後も努力していきたい」、短期大学の片桐史恵学長は「大学の持つ教育力、研究力、企画力を地域医療の発展に役立てていきたい」と語りました。



## 山口市・JAぎふと産官学連携授業 山県の魅力を伝えるPR動画を制作

山口市とぎふ農業協同組合（JAぎふ）との産官学連携授業として、短期大学部社会福祉学科2年生が、山県市の魅力を伝えるPR動画を制作しました。

これまで、同学科の美・デザインコース、医療事務コースでは、JAぎふとの産学連携授業の一環として、同市にある産

直施設「山県ばすけっと」で販売されている商品のポップづくりや、地元の農家などを取材して生産者や野菜を紹介する動画制作に取り組んできました。今回は協定を結んでいる山県市とも連携し、同市内の観光スポットや特産品、オリジナルの取り組みなどを紹介する動画17本を制作しました。学生は「少しでも山県のことに興味を持ってもらいたい」と話していました。動画は本学公式YouTubeで公開中。



### 大学間連携

#### 岐阜大学・岐阜市立女子短期大学と連携

本学は、岐阜大学、岐阜市立女子短期大学と共に、今年度の大学教育再生戦略推進費「地域活性化人材育成事業～SPARC～」採択課題「ぎふ地域創発人材育成プログラム～地域活性化を目指した知的基盤の確立～」に採択され、連携していくことになりました。

SPARCは、地域社会と大学間の連携を通じて、既存の教育プログラムを再構築し、地域をけん引する人材を育成することを目的としています。今後、教育リソースを共有しながら、地域社会の課題解決につながる活動などを進めていきます。

### 産学連携

#### JAめぐみのとの連携協定に基づく共同研究

めぐみの農業協同組合（JAめぐみの）と連携協定に基づき、2018年度から共同研究事業を実施しています。今年度は看護リハビリテーション学部理学療法学科の西嶋・菅沼ゼミが11月、デイサービスセンターあんしん郡上で、「転倒予防を目的としたタオルであしゆび体操の啓発」をテーマに行いました。



### SDGs

#### おもちゃのリユースを手掛ける

短期大学部幼児教育学科の杉山ゼミは「木育におけるSDGs活動」として、おもちゃのリユースに取り組んできました。これまでジュニアリーダーが集めたおもちゃを修理し、研磨を施し、色付けしました。生まれ変わったおもちゃは、美濃加茂市子育て支援センター『にじいろ広場』に贈りました。



### 国際交流

#### KIAフェスティバルに参加

教育学部の新井ゼミは、各務原国際協会主催のKIAフェスティバルに参加しました。学生は企画段階から携わり、地域や外国籍の方と一緒に取り組んできました。当日は日本ブースを担当し、日本の文化などを紹介。参加者とダンスも楽しみ、交流を深めながら、多文化共生について理解を深めました。



### ぎふCOC+事業推進コンソーシアム

#### 美濃市の観光振興とドローン活用を考える

ぎふCOC+事業推進コンソーシアム主催の「サマースクールin美濃」が美濃市で行われ、人間福祉学部の6名が参加しました。COC+は若者の地元定着率の向上を図るため、5大学共通の教育プログラムなどを実施しています。今回は、ドローンを活用した美濃市の観光推進についてグループワークなどを行いました。



### 高大連携

#### 高校生に介護のイロハを伝える

短期大学部社会福祉学科と山県高校との高大連携「介護講座」では、同校2年生19名が介護用リフトや車いす操作、スライディングボードを体験しました。高校生からは、「気を付けなければならないことを知ることができた」などの声が聞かれ、介護支援機器を実際に使い、学びを深めました。



### 公開講座

#### コロナ禍の健康増進についてを考える

看護リハビリテーション学部が主催する公開講座を10月に開催しました。今回は3年ぶり、初めてハイブリット形式で行いました。テーマは「コロナ禍における健康増進について」。同学部長の大森正英教授、看護学科の高田真澄准教授、理学療法学科の西中川剛講師が講演しました。



### 留学生

#### 外国人弁論大会で最優秀賞を受賞

岐阜県内外国人留学生日本語弁論大会が11月、岐阜協立大学で開かれ、短期大学部社会福祉学科2年生のディニ エンダードウィウタミさんが最優秀賞を受賞しました。ウタミさんは『コンフォートゾーンを抜け出し得られたこと』と題し、留学を通して成長した自分の経験などを伝えました。



### 2023年度 年間行事予定 2023年3月1日現在

#### 入学式

4/2(日) 長良川国際会議場  
前期授業開始日 ※  
4/6(木)  
開学記念日  
5/14(日)

#### 後援会総会・保護者懇談会

6/3(土) 関・各務原  
前期定期試験日 ※  
7/24(月)～7/28(金)  
後期授業開始日 ※  
9/25(月)  
大学祭・たのしみ祭・ホームカミングデー  
10/21(土) 関  
学びの森フェスティバル  
11/3(金)文化の日 各務原

#### 手話スピーチコンテスト

11/18(土) 各務原  
クリスマスツリー点灯式  
11/27(月) 関  
クリスマス礼拝・祝会  
12/18(月) 関  
年内授業終了日  
12/25(月)  
年始通常授業開始日  
1/5(金)

#### 大学入学共通テスト

1/13(土)・14(日) 関  
後期定期試験日 ※  
1/22(月)～1/26(金)  
卒業礼拝  
3/19(火) 関  
卒業式  
3/20(水)春分の日 長良川国際会議場

※ … 学科により異なる





中部学院大学  
同短期大学部

関キャンパス 〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘二丁目1番地 TEL 0575-24-2211  
各務原キャンパス 〒504-0837 岐阜県各務原市那加翔田町30-1 TEL 058-375-3600

[大学院] 人間福祉学研究科 修士課程 博士課程(後期)  
[大学] 人間福祉学部 人間福祉学科(社会福祉コース/精神保健福祉コース/介護支援コース/地域貢献コース)通信教育部  
教育学部 子ども教育学科(小学校・中学校教諭コース/幼稚園教諭・保育士コース)  
看護リハビリテーション学部 理学療法学科 看護学科  
スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科(スポーツ健康領域/スポーツマネジメント領域/障がい者スポーツ領域/保健体育科教育領域)  
[短期大学部] 幼児教育学科(あそびすとコース/障がい児支援コース/子育て支援コース)  
社会福祉学科(介護福祉コース/美・デザインコース/医療事務コース)